

L & T 編集委員会

〔編集顧問〕

北川善太郎（京都大学名誉教授・民法）
中山 信弘（明治大学特任教授・東京大学名誉教授・
知的財産法、西村あさひ法律事務所顧問）

〔編集委員〕

〔東京〕

鎌田 薫（早稲田大学総長・民法）
土肥 一史（日本大学知的財産専門職大学院教授・
一橋大学名誉教授・知的財産法）
松本 恒雄（一橋大学教授・民法・消費者法）
山口 厚（東京大学教授・刑事法）
相澤 英孝（一橋大学教授・知的財産法）
熊谷 健一（明治大学教授・知的財産法）
大村 敦志（東京大学教授・民法）
大塚 直（早稲田大学教授・環境法・民法）
小泉 直樹（慶應義塾大学教授・知的財産法）
井上由里子（一橋大学教授・知的財産法）
末吉 互（潮見坂綜合法律事務所・弁護士）
岩倉 正和（西村あさひ法律事務所・弁護士）
松葉 栄治（松葉法律事務所・弁護士）

〔大阪〕

大瀬戸豪志（甲南大学教授・知的財産法）
辰巳 直彦（関西大学教授・知的財産法）
茶園 成樹（大阪大学教授・知的財産法）
松村 信夫（プログレ法律特許事務所・弁護士）

（順不同・敬称略、2012年9月10日現在）

次号（59号）予告（予定）

〔2013年3月刊〕

知的財産高等裁判所判事の4論文（予定）

「秘密保持命令の運用」 小田真治（第1部）
「不正競争防止法2条1項3号の形態模倣
における損害額の認定」 真辺朋子（第2部）
「発明者性の立証責任の分配」

武宮英子（第3部）

「営業秘密の特定等」 井上泰人（第4部）

■編集後記■

●最高裁判決は判断の基準を示すものであるが、当然、時代状況によって振幅があるものと思われ、知財関係訴訟においては、権利者の保護と自由な利用・実施等との狭間で揺れ動くのだろうか。知財高裁と最高裁とで判断が異なる事例では、知財訴訟で考えられる基準と最高裁が考える一般でのそれが相違しているからこそ判断が分かれるのだろうか。サムスン vs アップルの裁判状況をみると「情」も基準なのかなとも思う。 (29)

☒定期購読のおすすめ☒

本誌はお近くの書店でもご購入できますが、確実にお手元へお届けする定期購読も承っております。各号2,000円～2,200円のところ、年間購読の場合、1年4号分を8,000円〔年4回〕・送料サービスでお届けいたします。直接弊社営業までお申し込みください。

【定期購読者限定の特典】

- ① 書店購入よりも早く読める。／
- ② 本誌の電子版（PDF版）を入手できる。／ 研究・実務に便利。／ Webからのダウンロードなので海外で閲覧可能。／

L & T No.58 (2013. 1)

発行日 平成25年1月1日

編集人 軸丸和宏 近藤草子

発行人 田口信義

発行所 株式会社 民事法研究会

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3-7-16

☎ 03-5798-7257 FAX 03-5798-7258(営業)

☎ 03-5798-7277 FAX 03-5798-7278(編集)

<http://www.minjiho.com/>

組版 株式会社 民事法研究会

印刷所 株式会社 太平印刷社

購読料 年間購読料8,000円(税・送料込)

本号定価2,100円(本体2,000円) 送料別

ISBN978-4-89628-827-8 C2032 Y2000E